

みやけの風

第 141 号

平成15年(2003年)9月13日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

十五夜の月はひたすら美しく、その静かな明るさに心を奪われるようでした。騒がしい東京の街の上に出て月も月。いい月だなあと団地のベランダから眺めていたら、大きな雲がやってきて……。東京で月を眺めたのは久しぶりでした。

一時の夏の賑やかさが過ぎた島の静かな宵、凪いだ海の上に浮かぶ月の美しさと浜の夜風の気持ち良さを思い出しました。

みんなの声

4ヶ月ぶりの我が家

竹芝桟橋を、私たち滞在型帰宅参加者を乗せ「かめりあ丸」は、一路三宅島に向け出航した。島に着いたら、あれもしよう、これもして、と、各人色々な思いを描きながら眠りにつき、途中少し揺れたかな、程度の快適な船旅。避難解除での帰宅ならナ～と思いにふけていた時、突然のガス臭に現実に戻った。

まもなくして三池港桟橋に接岸、指定されたバスに乗り、クリーンハウスに向かう。バスの移動途中に三池地区を通過しましたが、テレビを見て想像した以上に被害状況がひどく驚きました。

クリーンハウスに到着後、入所手続、午前8時食事の後バスに分乗、それぞれの家に向かったのですが、4ヶ月ぶりの我が家は、家の周りや庭全体に草が生い茂り、どこから手をつけたらよいのか。家の中は、と鍵を開け入ったとたん、生活感のないあの独特なムツとした匂いがする。早速二人で家中の窓を開け、風を入れ、一息入れるまもなく冷蔵庫の電源を入れ確認、その後二人で家の内と外回りとに作業分担して仕事にかかる。

久しぶりの島の暑さと日差しの強さに全身汗びっしょり、持参したペットボトルの中身もたちまち空に。気は焦るが仕事が思うように進まない。このまま焦って仕事をしたら体調を崩してしまう。

そこで二人で声を掛け合い、まだ2日あるからゆっくりしよう、あれもこれもでは

なく一つ一つ順に片付けよう、それからは気持ちを楽に持ち、今日はここまで、作業は終わり、と割り切って出来ました。

クリーンハウスも設備が充実しており、仕事から帰るとすぐ入浴もでき一日の疲れを流してくれました。食事のメニューも毎日変え、施設で働いている方々の気配りに、ただただ感謝の気持ちです。

滞在最後の日、ゴミを指定場所に運びながら、ふと、このまま東京に帰ることなく島に居れたら外出時に鍵の心配もなく、ストレスもなくのんびり出来るのにと、チョッピリ寂しい気持ちになりました。

「何歳になっても 故郷は懐かしい 大切なものですね」 (東久留米市 川口 憲)

五木ひろしさんのコンサート

9月2日で島を離れて3年になりました。私が住んでいる所は川を行きかう船が見え、また、緑が豊富な為に公園が多く、そこに行けば毎日島の人に会うことができます。でも、遠く離れている友や隣人とは、なかなか会う機会がありませんでした。

先日、五木ひろしさんのご招待のコンサートにでかけました。久方ぶりに会った、友人、隣人と元気でいる事を確かめ合い、早く島に帰りたい、いつになったら帰れるのかと話がつきません。

コンサートはさすがに満席の人でしたが、みんなその歌声に聞き入り、初めから最後まで静寂そのものでした。もちろん歌の合間には盛大な拍手喝采でした。三宅島の『望郷の歌』が流れてきた時には、島のな

つかしい海、山の風景が目の前に浮かび、胸が熱く締めつけられて涙々の時を過しました。たとえ自然が相手とはいっても、「火山ガスが早くおさまって、一日も早く全島民みんな一緒に島に帰りましょう」と願わずにはいられません。

あの青い海、緑の山々を仰ぎながら、静

かに流れる時を島で過せる様になった時には、五木ひろしさんに一度三宅島にいらしていただいて、島の澄んだ空の下で三宅島の『望郷の歌』を聞きたいと思います。

この度は「五木ひろしコンサート」に招待いただき本当にありがとうございました。

(江戸川区 坪田 佐藤 秀子)

三宅村シルバー人材センターより

三宅村シルバー人材センターでは、8月に引き続き9月もパソコン入門講座を実施します。また、10月には、風景や家族、お孫さんのスナップ写真などを利用して、来年のオリジナルカレンダーを作ります。島民の方ならどなたでも参加できますので、お電話でお申し込みください。

【9月】

内容：パソコン入門講座
 期間：9月24日(水)～26日(金)
 10:00～15:00
 切：9月22日(月)

【10月】

内容：16年度版カレンダーづくり
 期間：10月29日(水)～31日(金)
 10:00～15:00
 切：10月27日(月)

定員：各6名 / 場所：三宅村シルバー人材センター立川支所
 TEL：042-548-3717

耳 寄 り
 情 報

薔薇笑亭SKD PART MY麗美優 舞REVUEへ 三宅島島民20名様ご招待！

薔薇笑亭SKD(パラエティーエスケーディー)は、1996年に解散したSKD(旧松竹歌劇団)の最後の解散メンバーが中心となり、銀座ガスホールの応援を得て、東京伝統文化の継承と新人育成を夢と目標に、春には銀座博品館劇場で、秋には銀座ガスホールにて年2回の定期公演を開催しています。

メンバーはSKDの突然の解散によるショックにめげず、大勢のファンや関係者の支援で“夢”を失わずがんばっています。約2時間のレビュー。歌、洋舞、日舞、ラインダンスを曲にあわせてテンポよく、華やかに演じます。

三宅島島民の方々も、長い避難生活でご苦労されていることと思います。薔薇笑亭SKDも一度はホームを失いました。それでもがんばっています。少しでも皆さまの励みになればと思います。

公演日時：9月26日(金) 14:00開演

場所：銀座ガスホール(TEL:03-3573-1871)
 (JR新橋駅 及び 地下鉄銀座駅 より徒歩10分)

応募方法：往復はがき(往)に 住所、氏名、性別、年齢、をお書きの上、〒162-0815新宿区筑土八幡町5-11 (株)ソフィア エイジェンシー気付薔薇笑亭SKD友の会事務局 伊藤 義久宛てに、
9月23日までにお送りください(消印有効)。 **先着20様を無料招待** はがき(返信用 復)に、郵便番号、住所、氏名を記入すること。 ” 薔薇笑亭SKDご招待 ” の判を押し、返送します。

来場方法：はがき持参の上、当日13:40迄に銀座ガスホール6階受付へご来場下さい。

お問合せ：薔薇笑亭SKD(パラエティーSKD) 運営統括役員 伊藤 義久

TEL: 03-3235-8823 / E-MAIL: visophia@paw.hi-ho.ne.jp